

地域密着型駅前商店街のまちづくりビジネスモデルの構築

(鹿児島県鹿児島市)

携帯電話を活用した高齢者等の見守りビジネスや安全安心な食の提供、地産地消の取組み等、安全で暮らしやすいまちづくりを進め、商店街を核に地元住民・大学等が協働で行う地域密着型の「まちづくりビジネスモデル」を構築し、農商連携や広域ネットワークの取組につなげることで、商店街・地域の活性化を目指す。

地域密着型のまちづくり取組例



平成21年度の主な取組

- ① 携帯電話を活用した高齢者の安否確認、子育て世代への情報提供について実証実験を実施。
- ② 修学旅行生を対象にJRや市電を使った商店街エコツアーを実施。また、県内日置市、埼玉県和光市と合同で3地域連携の地産地消事業を実施し、地域再生の展望を開く。

平成22年度以降の展開

まち中(なか)での小規模保育所・宅老所の開設準備と併せ、携帯端末利用による福祉サービスを充実させるとともに、市電等の沿線商店街ネットワーク周遊エコツアー等を実施する。